

# 桃山学院大学

## キリスト教論集

### 総目次

第 1 号

1965年3月

---

発刊の辞	山崎 謹一郎 (1)
リチャード・フッカーの国家観	八代 崇 (4)
テルトウリアヌス・人とその教説	栗原 貞一 (27)
現代の経済問題と教会	小谷 春夫 (56)
新約聖書解釈についての試論	岡 精三 (70)
明治初期のプロテスタント伝道	山口 光朔 (91)
(付録) 明治期伝道史関係欧文文献目録	(106)
トロントにおける聖公会会議の意義について	藤間 繁義 (114)
書評	(135)

---

第 2 号

1966年3月

自由主義経済学の底を流れるもの	三 辺 清一郎 (1)
景教異端とそのシリヤ語 QNŌMĀ	
に関する一考察	木 村 信 一 (23)
聖公会—その組織, 教理, 礼拝	植 村 信 久 (43)
近代性の意味するもの	岡 精 三 (63)
Boston Personalism	藤 倉 恒 雄 (81)
キリスト教社会教説の類型研究	小 谷 春 夫 (91)
The Formation of Modern Japan	
and Protestant Christianity	山 口 光 朔 (103)
書評	八 代 崇 (113)
	藤 間 繁 義

第 3 号

1967年5月

---

デヴィッド・ヒュームとキリスト教(1).....	三 辺 清一郎 ( 1 )
神の根底と私の根底.....	山 内 貞 男 (18)
——エックハルト神秘主義の一考察——	
C・M・Sの日本開発伝道.....	木 村 信 一 (29)
キリスト教無神論—神の死の神学—.....	植 村 信 久 (63)
「力」についての覚書.....	岡 精 三 (79)
The Holy Spirit and the Trinity .....	Paul Tsuneo Fujikura (97)
S・キェルケゴール邦語文献目録.....	阪 口 尚 弘 (110)
書 評 .....	(148)

---

第 4 号

1968年5月

キェルケゴールの「沈黙」について.....	藤 尾 清 孝 ( 1 )
スチュアート朝英国における教会と国家.....	八 代 崇 (11)
——ウィリアム・ロードの思想と行動をめぐって——	
Reuel L. Howe の Dialogue Method について.....	藤 倉 恒 雄 (51)
黎明期のエキメニカル・ムーブメント.....	藤 間 繁 義 (66)
——1850年を中心として——	
悟 り (Buddh. γινώσκω.) .....	栗 原 貞 一 (84)
仏教とキリスト教の領解について	
コールリッジのキリスト教社会理論(1).....	小 谷 春 夫 (113)
書 評 .....	(122)